

# 少子高齢化社会の問題は、 サラリーマン経験33年、59歳の私が解決します！



安全  
安心

若者  
子育て

高齢者  
福祉

近い将来に発生が予想されている大規模災害に備え、長期間地域だけで自立対応できる防災整備計画の立案等に取り組みます。また、地域医療の充実や交通不便地域を改善するため、地域の実情を反映した交通整備等に取り組みます。

晩婚化・非婚化が少子化に拍車をかけています。若い世代への住宅補助制度の拡充や小児医療費助成年齢の拡大等に取り組みます。また、3人以上の子供を持つ家庭の所得税大幅減免など、大胆な政策にも国政と連携して取り組みます。

私も間もなく高齢者の仲間入りです。母も義母も認知症を患っており、妻は介護に掛かりつきりです。高齢者の能力を活かし、高齢者や弱者を孤立させない地域サポート制度の拡充等、高齢者や弱者の様々な問題を一緒に考え、一緒に解決します。

日本の総人口は2010年をピークに減り始めています。少子高齢化対策は必須です。しかし、人口が減り続ける現状を見越してよいのでしょうか。人口減少社会では、経済規模が毎年毎年縮小し、日本全体が構造的不況に陥り、社会保障も破たんします。究極の対策は、人口を減らさない社会づくりです。  
私は長年、サラリーマンとして働き、多くの皆さんと同じ社会経験を積んできました。生活者の視点で、将来につながる社会構造の変革に取り組みます。



民主党公認

# 小笠原一夫

59歳

おがさわら かずお

## プロフィール

- 昭和30年5月生まれ
- 横浜国立大学工学部卒業
- 日立に33年間勤務し、製造業・流通業の各種システム事業を牽引
- 横浜市に36年間在住



自民党横浜市連女性局次長

# 中山

自民党  
公認

まゆみ

お母さんの目線で、子育て世代の悩み解消へ！

青葉区は、長寿の街であると同時に子育て世代が多い街です。保育所、子育ての相談、お母さんたちの不安を解消し、ニーズに応える施策を推進します。

介護経験を活かし、課題解決へ挑戦！

10年後を見据えて、介護の問題は策を立てなければなりません。私は自分の親の介護経験があります。地域に合った介護を実践してゆけば、もっと質の高いサービスも望めるはず。積極的に提案していきます。

横浜の財政を、女性目線で斬る！

女性目線の政策が弱いと感じています。地域の課題に着眼し、生活者の立場から政策の優先順位をつけてゆきます。特に港中心の横浜という政策は、もう転換しなければならぬ時期です。私は複眼的に判断し、厳しく行政をチェックします。

個性ある青葉区に向け、総合区実現へ！

青葉区が総合区に衣替えすれば、青葉区に合った子育て政策、介護政策、医療政策に必要な予算と人の配置が、独自で実現できるようになります。地域のごときは地域で決める。地方自治の本旨が総合区です。青葉区民のために、しっかり実行していきます。

横浜の子育て、医療、介護・福祉。  
政策の優先順位を、女性の視点で改革していきます！

少なすぎる！だからこそ、自民党女性市会議員誕生を！

横浜市政にチャレンジする「中山まゆみ」を応援しています！

内閣総理大臣 安倍 晋三

元環境大臣 小池ゆりこ

衆議院議員 ふくだ峰之

中山まゆみプロフィール

昭和41年11月8日 48歳 O型 東洋英和女学院短期大学卒業

国交省職員、ふくだ峰之秘書、衆議院議員公設第一秘書 家族：夫・長男(中2)



自民党

～青葉区で初めて！ 自民党から女性議員を～

# 子育て・介護は社会のしごと

## プロフィール

1973 川崎市生まれ / 市ヶ尾高校卒 / 東洋大学短大卒後日独平和フォーラムに参加 / インタースタジオ勤務後グラフィックデザイナーとして独立 / (株) たまプラーザぶんぶん電力取締役 / 家族：夫と子ども2人

## 推薦します

栃本一三郎 (上智大学総合人間科学部教授) 佐渡友順子 (高齢化社会をよくする虹の仲間代表) 中畝常雄 (スペースナナ共同代表・日本画家) 友澤ゆみ子 (ピッピ・親子サポートネット理事長) 向田映子 (女性・市民コミュニティバンク理事長 / 元横浜市議・県議)

● 新市庁舎建設計画は見直し  
市民意見調査の再実施を提案します。

無駄な公共事業の見直しを

● 太陽光発電など再生可能エネルギーを推進し  
「節電は発電」を進めます。

エネルギーの地産地消を

めざすは脱原発、

地域ケアシステムの充実をはかります。

## 青木マキの提案

そわて  
政治  
ごだま。

● どの子も、その子らしく育つ権利を保障します。  
● 安心・安全な給食、中学校給食は小学校施設の活用など柔軟な発想で進めます。

地域で在宅介護を支える

● 長寿のまち青葉区、介護スタッフの処遇改善を  
すすめ、医療と介護の連携、

地域で育ち、学びごとを支える

● 核家族の多い青葉区、待機児童対策だけでなく  
一時保育や親子の集いの広場、産前産後ケア、  
相談事業などの充実を進めます。

子育てを孤立させない



地域政党 神奈川ネット  
**青木マキ**

青木マキは、選挙カーをしません。

# おとなが道ゆく子どもにあいさつをされるうちに

- ◆議員は市民のための政策を考えるべき
- ◆みなさんが困った時に頼られる存在になるべき

## そのために私は立候補します

- みんなが楽しく過ごせるまちに変えたい
  - 子育てに引越しをしてきたくなるようなまちにしたい
- そして私だけではなく、政党に縛られないような議員をみなさんと選んでください。そして一緒にまちを変えていきましょう

## 議員をもっと働かせよう

### 【政策】

- ・オリンピックに向けて急ぐ新市庁舎を延期(50億の無駄)
- ・誤った留守宅児童対策キッズクラブを廃止し(年間20億)必要な対策を優先的に実施
- ・小学校教師支援(学級崩壊対策)・中学給食の実現
- ・生まれてから高齢者になるまでのコミュニティの充実(大人のコミュニティづくり、自治会の活性化)
- ・議員報酬・選挙の透明化(議員の無駄使いを明らかに)
- ・無駄な海外議員視察の中止(1人120万)

①青葉区は他のまちに比べて少しだけ豊かです。だから気がつきにくいのですが、実は教育や福祉が不十分で、今まさに困っている人はいるのにその人たちには届きません。

②だが、足りない部分を補うために働いている方々が沢山います。学校とそれをささえる学童・PTA・おやじの会や自治会。また実際にサービスを現場で頑張っている職員や施設の方々もです。でもその頑張っている人たちが困った時に手を差し伸べる人はやはりいません。

残念ながらこの街の議会では①や②の市民に本当に必要なものではなく、高額な新市庁舎や、元(カジノ)など大きなものに関心が高いです。



ひらい かずひこ  
**平井和彦**

無所属 44歳

昭和45年 大阪出身 東海大学卒業後神奈川へ。ITコンサル会社(フューチャーアーキテクト)からソフトバンクモバイルに転職。人の親になり地域参加するなかで立候補を決意

ホームページ: <http://khiraijimdo.com/>

所属している地域の団体: もぐら学童クラブ・あざみ野第二小学校PTA・おやじの会 大塚町一心会



# 一人ひとりの子どもを大切にする中学校給食の実現を

大貫のり夫は党横浜市議団長として、議会での論戦をリードしてきました。

## 市政の「おかしい」をたどす

カジノ誘致や高速横浜環状道路、超高層の新市庁舎建設など、なぜ、東京オリンピックに間に合わせなくてはならないのか。

その前に、防災対策、保育所や介護・福祉の充実など、やるべきことは沢山あります。

## 緑豊かで暮らしやすいグッドな青葉区を

- ★もう一館、図書館を
- ★区役所支所及び出張所の設置
- ★バス停の上屋とベンチの増設
- ★川や田畑、緑など環境保全

## プロフィール

1947年西区生まれ。県立横浜翠嵐高卒。桜台で酒店経営、横浜緑民主商工会会長、谷本中学同窓会会長等を歴任。横浜市議7期。現在は桜台で妻と二人暮らし。

日本共産党  
の躍進で

安倍政権の暴走ストップ！日本は今、歴史の岐路に立っています。  
「海外で戦争する国」づくりを許さない！憲法9条を守ろう！

## みなさんと一緒に実現しました！

- ★2020年までに東急・田園都市線全駅にホームドアを設置
- ★地下鉄あざみ野駅に下りエスカレーター設置
- ★「恩田の森」を特定緑地保全地区に指定
- ★小児医療費助成を小3まで拡大

中学校給食を頑として反対している自民党。日本共産党の躍進で、中学校給食を実現しましょう。横浜市の子算は、ニュージブランドの国家予算の約半分に匹敵します。財源はあります。何を大切にするかです。日本共産党に横浜市議会でも議席倍増で議案提案権を獲得させてください。子どもからお年寄りまで安心して、住みよい横浜、青葉区をご一緒につくりましょう。

大貫のり夫



日本共産党  
大貫のり夫

# 市民が主役で、皆様の意見が実現される横浜市に!

## プロフィール

- 1979年6月福島県生35歳
- 駒澤大学法学部政治学科卒
  - 立命館大学大学院政策科学研究科博士前期課程修了
  - 民間企業勤務を経て、2005年から衆議院議員江田けんじ秘書。
  - 2011年横浜市会議員初当選

## これまでの4年の実績

- ボーナス50%自主的にカット
- 議員給与削減条例を提案
- 費用弁償(通勤費用)の受取拒否
- 外郭団体改革
- 困難を抱える若者就労支援
- オープンデータの実現
- 市民参加による対話型政策形成
- 社会的養護施策の充実

「気づいたら決まっている」政治から、  
「自分たちで決めた」といえる横浜市政を築いて行きます。

## 徹底した行財政改革・議会改革

- 職員総人件費の削減。
- 区役所への権限移譲。
- 議員定数、報酬の見直しなど
- 監査制度の見直し。
- 公民連携の推進。
- オープンデータの推進。
- 事業の見直し。

## 教育・子育て施策の更なる充実

- 中学校給食の実現。
- 教職員の子どもと向きあう時間の確保。
- 図書館機能の充実と、ICTの活用。
- 図書を活かした地域づくり。
- 男女ともに子育てしながら働きやすい環境整備。など
- 民間人校長の積極採用。

## 健康・福祉施策の充実で、誰もが暮らしやすい横浜市に!

- ユニバーサルデザインの理念に基づいた施策の促進。
- 在宅医療制度のさらなる促進・横浜型地域包括ケアシステムの完成・充実。
- 困難を抱える若者の就労支援。
- 家庭養護の充実や特別養子縁組の促進など、社会的養護の充実。
- 喫煙禁止モデル地区の拡大・普及。など

青葉区の地域の発展、活性化に、今後も尽力し続けます!



維新の党公認  
**藤崎浩太郎**  
35才

# 未来への責任。実行力で進めます。

## 2011～2014年 4年間の取組み

2011年の自民党マニフェストは88%達成!

よこはま自民党政務調査会副会長として、議員提案条例8本中の7本を制定。特に、絆条例・児童虐待防止・都市農業促進の3条例は、責任者として条例案を起草。2011年版「責任と約束」は、マニフェスト大賞グランプリを受賞。“政治は結果責任”との信念で活動しました。

- ・高校生の留学支援制度を確立
- ・児童養護施設 中里学園の存続を実現
- ・発達障害等、障害者政策の改善に取り組む
- ・美しが丘西小学校を開校
- ・荏田西コミュニティハウス(仮) 建設へ

## プロフィール

昭和39年8月生まれ。同志社大学商学部卒業。セコム株式会社、ソニー生命保険株式会社を経て、平成19年4月横浜市議員初当選。以降2期連続当選。よこはま自民党政務調査会副会長。元荏子田小学校 PTA会長 家族/妻 長男 次男 長女 愛犬(ミニチュアシュナウザー)

《山下正人の基本政策》  
・教育力の向上 ・財政の健全化 ・議会力の向上

## 次の4年間の重点政策

- 1 都構想だけじゃない。横浜市に総合区制度を!**  
青葉区の住民自治を高めるために、総合区制度の検討を始める。  
\*総合区とは=現行の議員定数のまま、東京23区の様子の権限が強化します。
- 2 介護支援の強化と健康寿命の延長に取り組む。**  
介護度が改善される事で施設にインセンティブが出る仕組みを、横浜から提言する! 質の高い高齢者福祉を進めます。
- 3 子育て支援&教育環境の充実。**  
幼稚園の預かり保育を充実する。  
横浜市在住高校生の海外留学を3倍にする。  
発達障害など困難を抱える児童のサポート強化。  
東急線と比較して割高な市営地下鉄の通学定期の引き下げ等。
- 4 地下鉄3号線(あざみ野〜新百合ヶ丘)の早期開通を実現。**



横浜市議員 自民党公認

# 山下正人





## 青葉区のみなさまへ

どんな仕事も結果が問われます。それは政治も同じ。

公約の実現、諸問題の解決など。

たとえ100%でなくとも一歩

でも前に進める責任があります。

● **本当に責任ある政治とは**

政治には、「議会制民主主義」というルールがあります。もち

ろん問題点の指摘や議会での

質問は重要ですが、それは仕事

のほんの一部…。考え方や立場

を超え、対話し「合意形成」して

現実が動き始めます。無責任な

「言いっぱなし」や「スローガン

だけ」の政治から一線を画し、

みなさまへ結果でお応えする

政治に全力投球してまいります。

### 実際は目立たない部分

相談を受け、現場へ行く。  
関係者各位へのヒアリング  
法律上の問題点の洗い出し  
関係部署への相談・交渉

まだ解決しない

関係各所への相談など  
交渉・資料作成・質問  
その上で各所が動き出す  
と結果・一定の成果

結果を出すには地道な作業が続く

「何を言ったかだけでなく、何をやったか！」

# 圧倒的仕事量。

毎日発信  
行田のブログ!  
ぎょうたともひと  
— KOMETO —  
公明党

## 主な政策・実績

市会・県会での  
仕事の一部

### 安心の介護

◇ 地域包括ケアシステムおよびモデル推進

### 災害対策

◇ 帰宅困難者一時滞在施設、  
帰宅支援ステーション設置推進  
◇ ペット同行避難訓練の推進

### 子育て支援

◇ 小児医療費助成小1→小3まで拡充  
◇ 市立中学に横浜型スクールランチ導入

元 気で長生き、よこはまウオーキング  
ポイント事業推進 / 商店街への簡易

型緊急警報装置移行推進 / 全国初地方

自治体での介護情報公表制度スタート

／認知症対策安心ダイヤル / がん検診

受診率向上対策 / 不妊症・不育症補助

金導入推進 / 県市でいじめ対策推進 /

食品安全安心緊急110番設置 / 女性

のための相談窓口設置 (DV対策支援)

／駅や道路のバリアフリー推進 / 待機

児童問題「ひとり親家庭減免加算」新設

／うつ病対策ひきこもり対策の推進 /

認知行動療法推進 / 自殺予防情報セン

ターの設置推進 / 薬物対策の推進 / 養

護学校整備 / 学校寄付制度開始 / 教員

の調査業務見直し / 2割削減 / 雇用対

策 / ショップカフェ土曜開所実現 / 雇用相

談窓口強化 / ブラック企業対策ほか

▶ ほか多数の仕事は「選挙ホスター」で!

# ぎょうた 行田 ともひと

公明党  
48歳

### ぎょうたともひと / プロフィール

S42年大阪生まれ京都市育ち / 創価大学経済学部  
在学中、マレーシア・国立マラヤ大学に交換留学 /  
H3年日立製作所入社。アジアの半導体事業に従事 /  
H18年参議院議員公設第一秘書。翌年、神奈  
川県議初当選。H23年横浜市議当選。 / 田奈地区  
在住 妻と3男1女の6人家族、身長183cm

### 行田ともひとさんの仕事を応援しています!!

聖路加国際病院  
内科統括部長  
鎌倉林直彦氏  
横浜さくら幼稚園  
横濱さくら幼稚園  
理事長 前田尚江氏  
恩田連合自治会  
前会長 井上太一氏  
青葉消防団青葉区  
松沢光剛氏  
愛玩動物飼養管理士  
山下理恵子氏  
ラーメン大使  
代表 高橋司氏  
ゆめや不動産株式会社  
社長 村内美恵子氏  
日館建設株式会社  
会長 中島正氏  
青葉台小籠接待院  
院長 小籠信幸氏  
弁護士 鈴木義弘氏



# 菅野よしのりが引き続き追いかけること。

## 公共事業の質を問う！質を追えば無駄が減る！

- ① 現在の街づくりは、財政が厳しいから質よりも値段の安い方へ安い方へ。結果はトンネルも橋も建物も道路も水道も下水道も質が確保できず事故や事件。
- ② また、いつ起こってもおかしくない大地震や津波、そして台風の巨大化、強風、竜巻、ゲリラ豪雨等による災害。崖地や急傾斜地、違法建築地や造成地もそのまま、危険箇所も増えている。あらゆる災害を想定したインフラ整備や街づくり、質が確保された街づくりが必要不可欠。

## まずは、福祉。

- ③ 横浜もこれから少子高齢化が急速に進む中で、子供を増やす＝働きながらも子供を産んで育てやすい保育制度の構築。高齢者を守る＝施設や病院、そして在宅の医療介護の連携、制度の構築。
- ④ 若者や障害者の人達、そして高齢者の人達の孤独、孤立を防ぐ。いま、都会の無縁社会や孤独、孤立が広がっている。結果は孤独死、孤立死、そして犯罪の世界へ。そんな悲惨な人生ではなく、つながりのある、話しが出来る明るく楽しい街づくりを。

政治家としてのモットーは

すべては人を中心に考えること…

かんの よしのり

### 菅野義矩 Profile

福島県猪苗代町に生まれ、  
日本大学農獣医学部を卒業

日本大学大学院グローバルビジネス研究科ヘルスソーシャルケア修士課程修了

サラリーマンから国会・参議院議員、衆議院議員の第2秘書、第1秘書、政策担当秘書を勤め、横浜市議員に。

その他、社会福祉法人を設立し、認知症高齢者のグループホームと障害者のグループホームを運営。

地域では、みたけ台中学校の「おやじの会」や野球部コーチ、そして保護司等、子供達と関わりながら子供を守るボランティアを続けている。



民主党公認  
かんの  
菅野よしのり

# 365日 横浜・青葉のために!

これからも「丘の横浜・青葉」で市民の願いを“かたち”にしてまいります。  
横山正人の目標は努力した人が報われ、納税者が税金にみあうと感じられる政治の実現です。



自由民主党

まさと

# 横山正人

## 青葉区民との10つの約束

- 1 災害対策の強化を進めます。**  
東日本大震災は横浜にも多くの教訓を残しました。青葉区で多く発生した帰宅困難者対策、避難拠点、情報提供、ライフライン確保、また、昨年横浜市内で発生した崖崩れでの甚大な被害、このような都市住宅地型防災の確立を進めます。
- 2 防犯対策の強化を進めます。**  
治安に不安を感じる区民の声をよく聞きます。空き巣や強盗、振り込め詐欺などから青葉の治安を守るのが政治の原点です。
- 3 地域医療の充実を進めます。**  
安心してこの街で暮らすための救急医療、小児医療体制を確立します。
- 4 街の美化を進めます。**  
ゴミの不法投棄は許しません。分別資源化の推進。受動喫煙対策など更なる分煙環境の徹底に努めます。
- 5 学校教育の充実を進めます。**  
深刻な待機児童対策など子育て環境の充実を進めます。教育による人材育成は我が国の生命線です。公教育による学力、体力の向上など基礎教育の向上に努めます。仮設校舎の解消、横浜型中学校昼食の早期完全実施など教育環境整備に努めます。
- 6 区民の便利を進めます。**  
コンビニ、地区センター、郵便局での住民票、印鑑証明交付の拡大、自動交付機の配備を進めます。市営地下鉄の新百合ヶ丘延伸の早期実現、こどもの国線の鶴川延伸を進めます。

### ●プロフィール

昭和39年東京オリンピックの年、横浜に生まれる。桜美林高校、桜美林大学卒業後、米国デラウェア大学留学。在米日本大使館勤務の後、参議院議員秘書。平成7年、横浜市議員初当選。連続5期当選。環境問題、がん対策、行政改革など幅広く活動中。

大塚町に妻、長男(大2)、長女(大1)の4人家族。



この選挙公報で伝えきれない内容は  
コチラから

facebook

twitter

ホームページ

横山正人(横浜市議員 青葉区)

を 検索 してください。

## 電話1本! 政治の出前!

なんでもお気軽にご相談ください